

指導農業士と農の匠で小学生の食農教育を支援

当課は、食農教育を推進するために働きかけを行い、指導農業士、農の匠（優れた農村文化等の技術を有し、伝承活動を行う）に協力をいただき、12月6日に甲賀市立柏木小学校において、収穫体験や調理実習を行いました。

体験した4年生（29名）の児童は、地元集落にある食育畑（学校給食用野菜を生産する畑）で生産者の指導農業士から、食育畑やにんじん栽培について学んだ後、にんじんの収穫を体験しました。児童は、普段は見かけない二股や三股のにんじんも獲れることに驚いている様子でした。

また、にんじんは学校に持ち帰り、農の匠の指導の下で伝統野菜の水口かんぴょうやこまつなと合わせたごま和えづくりに挑戦して貰いました。

指導農業士、農の匠には、給食時に児童と交流をしながら試食をして貰いました。この日の給食には、収穫を体験した畑のにんじんが使われており、会話も弾んだ交流となりました。

当課では、これからも食農教育の推進に取り組んでいきたいと考えています。



普段は見かけない二股のにんじんを収穫



美味しくできた料理を取り分け